

最先端研究開発戦略的強化事業調整会合
(最先端研究開発支援プログラムの加速・強化 - 第3回)
議事概要

- 日時: 平成 22 年 5 月 27 日(木)9:30~9:40
- 場所: 合同庁舎 4 号館 12 階 1214 会議室
- 出席者: 相澤議員、本庶議員、奥村議員、白石議員、今榮議員、青木議員、中鉢議員、金澤議員

○ 議事概要

(二村参事官) お手元の資料は、調整-1、調整-2、参考、前回までの議事概要及び今後のスケジュールについてである。調整-1は前回までの議論に従って纏めた、運用基本方針案である。補助金を直接経費と管理費に分けること、中心研究者・共同提案者の給与は出せないこと、やむを得ない場合は次年度への繰越が可能なこと、事後評価を一千億の基金と併せて行うことを除いて、一千億の基金と同様な内容である。調整-2は研究計画のフォーマット案である。文部科学省と事務的に調整しており、同じものを再度(JSPSに)提出すればよく、研究者の負担軽減を図っている。

(相澤議員) 前回までの議論に基づいた方針案であるが、内容について如何か。特段なければ調整-1は、調整会合のクレジットとして決定することをご了承いただいた。

(藤田統括官) スケジュールについては。

(二村参事官) 今、主・副担当議員による具体的な(配分額の)打ち合わせが行われているが、その打ち合わせは来週の火曜日までに終了の予定である。6月中の本会議決定を仮定すると、支援担当機関の作業期間を2週間強とし、6月20日ぐらいまでに研究計画を内閣府に提出してもらう。その内容を3日から1週間以内でご確認頂くことになる。時間が限られているため集中的にご議論頂くこともありそうである。

(相澤議員) できる限り早く決定したいので、このスケジュールでお願いしたい。

以上